

山口情報芸術センター [YCAM] レクチャーシリーズ

YCAMメディア・キッチン—知的好奇心を満たす連続レクチャー vol.2

「からだに訊くテクノロジー — さわって、着て、かんがえる」

講師：ダニエル・ワイルド(アーティスト、研究者)

会場：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

10月23日(土) 15:30-17:00 入場無料 ※定員70名、申込制

6月からスタートしたYCAMの新しいレクチャーシリーズ、待望の第2回！
「衣」とテクノロジーの接点を通じて、現代の私たちの生活を考え直す

山口情報芸術センターが、利用者のみなさんに「メディア表現」に対しての理解をより深めていただくことを目的に、今年6月からスタートさせたレクチャーシリーズ「YCAMメディア・キッチン」。

このたび、第2回を開催いたします。
「衣・食・住」をキーワードに掲げる「YCAMメディア・キッチン」。前回の「食」に続いて、今回は「衣」。講師に、「ウェアラブル・テクノロジー(着られるテクノロジー)」を用いた活動を展開するオーストラリア人アーティスト／研究者をお招きし、私たちの生活とテクノロジーの関係を根幹から揺るがすような刺激的なレクチャーをお届けします。

今回のレクチャーでも、講師のユニークな視点を通じて、現代に生きる私たちに必要な、情報の応用力や活用力、そして日常生活に彩りを与える新たな価値観に出会うことができます。この機会にぜひ、ご参加ください。

主催：財団法人山口市文化振興財団
後援：山口市、山口市教育委員会
平成22年度文化庁芸術拠点形成事業
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

※会場の都合により、第2回目の開催日が10月16日(土)から23日(土)に変更となりました。告知後の変更になり、関係者のみなさまには多大なご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。

ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただけますよう、よろしくごお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 広報担当：廣田

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 e-mail：information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 <http://www.ycam.jp/>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



第2回講師：ダニエル・ワイルド(アーティスト、研究者)
「『OWL』プロジェクトで 사용되는デバイス」

概要

YCAMメディア・キッチン—知的好奇心を満たす連続レクチャー vol.2

「からだに訊くテクノロジー — さわって、着て、かんがえる」

2010年10月23日(土) 15:30-17:00

講師：ダニエル・ワイルド(アーティスト、研究者)

申込方法

はがき・FAX・e-mailにて、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号・e-mail等連絡先とともに、下記へお申し込みください。

〒753-0075 山口市中園町7-7 FAX：083-901-2216

e-mail：workshop10@ycam.jp

第2回目のテーマは、「着られるテクノロジー」

講師はオーストラリア人のアーティスト、研究者

現代における私たちの生活とテクノロジー、そして私たちの身体とイマジネーションの関係とは？

ウェアラブル・テクノロジーとは？

「YCAMメディア・キッチン」第2回目は、人が衣服を着るように身に付けられる装置やそれに関する技術(ウェアラブル・テクノロジー)を利用した「身体性の拡張」をテーマに、アート作品の発表や執筆活動を行っているアーティストで研究者のダニエル・ワイルドさんを講師に迎えます。

有史以来、人々の生活を豊かにしてきたテクノロジー。それが高度に発達し、当たり前のように身近に溢れる今日においては、本来“使う”べきはずのテクノロジーに、かえって“使われている”かのように感じたり、あるいはテクノロジーが身体感覚から次第に離れたものになっていくように感じている方も多いのではないのでしょうか。このレクチャーでは、ワイルドさんが世界各地で展開している「OWL(オウル)」というプロジェクトの紹介を通じて、テクノロジーと私たちの生活との間に横たわった違和感を掘り起こしてみるとともに、それを乗り越えるための有効なアプローチと考えられている「ウェアラブル・テクノロジー」という技術について理解していきます。

この機会に、生活を取り囲む「当たり前」を、身体からのメッセージを頼りに見つめ直し、私たち一人ひとりの日常を全く新しいものに変えてしまうかもしれない、未知のテクノロジーについて考えてみましょう。

<レクチャーのながれ>

1. イントロダクション

講師が「OWL」プロジェクトのプレゼンテーションをおこないます。

- ・身体性の拡張とは？
- ・ウェアラブル・テクノロジーとは？
- ・私たちの生活とテクノロジーの関係とは？

2. ワークショップ

まだこの世界には存在していない未知のテクノロジーやそれをういた装置を想像してみましょう。

- ・それを使ってあなたが実現したい欲望とは？

3. ワークシートの作成

あなたが想像した装置について解説してください。

- ・どのようなしくみで欲望を実現しますか？

4. まとめ/リレクシオン

ワークショップの成果発表。それぞれの発表内容を元に、講師が解説をおこないます。

<講師プロフィール>



ダニエル・ワイルド | Danielle Wilde

アーティスト、テクノロジー・デザイン研究者。オーストラリア・ウロンゴン生まれ。ロンドン王立美術大学デザイン・インタラクティブ修士課程修了。モナシュ大学およびオーストラリア連邦科学産業研究機構研究員。現在、東京大学石川小室研究室にてリサーチャーとして滞在中。

パフォーマンス、ファイン・アート、批評的デザイン、インタラクティブ・デザインの分野で幅広く活動しており、New York Bessie Award(インタラクティブ・インスタレーション分野)など受賞多数。研究者としては、身体、テクノロジーのあらゆる結びつきの形態を主な研究テーマに研究活動を行っている。

日常生活のスパイスや遊びの要素として、さらにはアート作品として、ウェアラブル・テクノロジーを用いた作品群を多数発表している。また、リハビリテーションや障害者用のデバイスとして、ウェアラブル・テクノロジーの発展性を研究している。これら一連の実験を通して、想像不可能な未知のテクノロジーを可視化するリサーチ・プロジェクトを展開している。

<「OWL」プロジェクトとは>

身体装着型デバイスのリサーチに関するダニエル・ワイルドとクリスティーナ・アンデルセンの共同プロジェクト。機能や利用シーンに焦点を当てるこれまでのプロダクトの設計プロセスに疑問を投げかけ、身体のリサーチと個人レベルの欲望をすくい上げることで、日増しに発展を遂げる今日のテクノロジー開発の流れを飛び越えるようなアイデアを考え出し、それを通じてテクノロジーの本質的な意義を捉え直すことを目的としている。ワークショップとして世界各地で展開している。



OWLプロジェクト参加者による成果物
「安全ガード付きヘッドフォン」

まだまだ続く大好評のレクチャーシリーズ「YCAMメディア・キッチン」

身近な視点から、体験的に、現代社会における「メディア」を学ぶ

日常生活に彩りを与える、新たな価値観を提供する場所

YCAMでは、メディアテクノロジーを用いた新しい表現について「触れたことがない」「もっと知りたい」と考えている鑑賞者に向けて、より有意義に作品を楽しめるよう、様々な教育普及プログラムを実施しています。今回のレクチャーシリーズは、YCAMの活動テーマのひとつである「メディア表現」が扱う広汎なテーマを、より身近に捉えていくことを目的としています。

多様なメディアとともに変化する社会やコミュニケーションを前に、その仕組みを理解し、ユーザ自身が創造的に技術やツールを使いこなす方法を模索することは、今後ますます重要となるでしょう。「YCAMメディア・キッチン」は、身近なトピックからメディアを考え、体験を通じて理解を深める、新しい形式のレクチャーです。このレクチャーを通じて、「メディア」という言葉になじみのない方も、生活における「衣・食・住」を切り口としたユニークな視点から、情報化社会における技術やツールの存在を学ぶことができます。

YCAMと鑑賞者をつなぐメディア、そして新しいアイデアを生む場所、キッチン。日常生活に彩りを与える新たな価値感をみなさんと発見していきませんか？

YCAMメディア・キッチン

今後のスケジュール

第2回

10月23日(土) 15:30-17:00

「からだに訊くテクノロジー — さわって、着て、かながえる」

講師：ダニエル・ワイルド(アーティスト、研究者)

第3回

2011年1月22日(土) 15:30-17:00

※レクチャー内容、講師については、11月初旬に発表予定



講師に中山晴奈氏を招いて、6月12日(土)に行われた
前回の「YCAMメディア・キッチン」の様子

開催概要

YCAMメディア・キッチン—知的好奇心を満たす連続レクチャー vol.2

「からだに訊くテクノロジー — さわって、着て、かながえる」

2010年10月23日(土) 15:30-17:00

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

講師：ダニエル・ワイルド(アーティスト、研究者)

入場無料 ※申込制

申込方法

はがき・FAX・e-mailにて、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号・e-mail等連絡先とともに、下記へお申し込みください。

〒753-0075 山口市中園町7-7 FAX: 083-901-2216

e-mail: workshop10@ycam.jp

主催：財団法人山口市文化振興財団
後援：山口市、山口市教育委員会
平成22年度文化庁芸術拠点形成事業
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]



■通訳あり。

■未就学児入場不可。

■託児サービス

対象：0才(6ヶ月)以上

託児時間：イベント開始の30分前から終了30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：10月16日(土)までに下記までお申し込みください。

山口市文化振興財団チケットインフォメーション(YCAM内)

083-920-6111 (10:00-19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)